

青嶺 Seirei

文責 田中泰司

伊万里市立青嶺中学校

みんなで伸びる！ 二期の始まり

暑い夏があと少しで終わろうとしています。月曜日から二期が始まりましたが、当初少しボーっとしていた子どもたちでしたが、今日は元気いっぱい、いつもの青嶺中学校に戻りました。

七月の終業式と先日の始業式では「対話」を通して違いを認識したうえで相手を尊重し、互いを磨き合って成長しようという話をしました。以下に記します。

――終業式で――

今、皆さんにいちばん伝えたいことは「対話」についてです。対話は自分と人との違いを認識すること、自覚することから始まります。違う見方や考え方、価値観をもつ人同士が、完全に分かり合うのは難しいことです。だからこそ、なぜその人がそう考えるのか？どんな意味で発言したのか？を興味や関心をもって

よく聞き、考え、背景を理解し、尊重してください。

私が一人で旅をするのは様々な人と出会い、言葉を交わし、互いを理解し合うため。そして究極の目標は戦争をなくすためです。他者から学ぶことは大きいですが、他者を通してしか成長はありません。夏休みは時間にゆとりをもてると思います。家族や友人と言葉を交わし、対話してください。この夏が「輝ける夏」になることを願っています。

――始業式で――

「季節は何度もめぐってくるけど、今年の夏は一度きり 輝け 僕らの夏」の言葉をいつも眺めながら通勤していました。二〇二四年の夏は輝いていましたか？この夏は県大会や九州・全国大会に進んだ本校生徒たちの活躍の姿を多く見られました。卒業生である柳本選手は九月二〇日に来校予定ですが、先輩からいろいろな話を聞いて自分の糧にしてほしいと思います。

私は五年ぶりに札幌を訪れ、語の研究会に参加し、全国の仲間との再会や新しい出会いにエネルギーをもらってきました。

旧知の間柄でしたが言葉を交わし、対話することを通して新しい気づきや発見が本場に多くありました。

また、学校で一番言葉を交わすのは吉富教頭先生と一緒に勤めて一年四か月ですが、どうすれば学校が良くなるのか、子どもたちが過ごしやすくなるのかなど常に対話をしています。

自分が思いもよらなかった新しい見方や考え方を、言葉を交わすことで気づくことがよくあります。考えていることは当然全く同じではありませんが、違うからこそ新しく生み出すことができると感じますし、そういう対話ができる教頭先生と出会い、仕事をしていく幸運に感謝しています。

二期はたくさんの方の取組があり忙しい期間ですが、どうかいろいろな人とたくさん言葉を交わしてください。そして違いに気づき尊重してください。そうすることで皆さんはきっと成長することが出来ます。他者を尊重することは自分自身を大事にすることにつながります。

皆さんと先生たちと共に、対話を通して互いを尊重し、互いを磨き合い、安心して成長できる学校を作っていきましょう。

色々な背景をもつ多様な考えの人が集まるからこそ、豊かな集団になります。身近な人から気付き学んでいきたいですね。

バイク旅の危険②

野生動物・オーストラリアの車には前方に頑丈なバーがついていて、「ルーバー」と呼ばれています。これは「カンガルーバー」の略です。夜行性のカンガルーは光に向かって飛び込む習性があり、夜に走っている車のライトに飛び込んで衝突し、轢かれて死んでしまうのです。

車が大破しないよう、跳ね飛ばすための器具がルーバーですがちょっとかわいそうですね。バイクだと事故になりライダーは骨折、バイクは廃車となった知り合いがいます。

また放牧されている牛も危険です。ぶつかったらバイクは吹っ飛んでしまいます。路肩を走る飛ばない鳥のエミューも六〇kmくらいのスピードで並走します。鳥だけに何を考えているかわからないので、いきなり進路変更してぶつかることも。砂漠地帯では野生のラクダとも遭遇します。ウオンバットやコアラもまれに見かけます。いずれにせよ、野生動物の住む領域に我々が入り込んでいくので、用心に越したことはなく、危険を察知する力を磨き、何となく嫌な感じがしたらスピードを緩め危険を回避する、夜は出るだけ走らないなど用心する

ことが、お互いが痛い目に合わないために大事なことだと思いました。

眠気・バイクで居眠りなんて、と思われるかもしれませんが、割とおこりがちです。知り合いは居眠りで大転倒し、バイクが大破しました。ズーっと直線で単調な景色が続くので、飽きてしまい食事の後などはどうしてもウトウトしてしまいます。

ある時どうしても我慢できなくなって、バイクを停めて道端でヘルメットをかぶったまま横になって寝てしまいました。ほとんど車を通らない場所だったので、[Are you alright?] 心配したオージーが体を揺さぶって起こそうとしてくれました。きつと熱中症で倒れたと思ったのでしようね。優しさに感謝しつつも勘違いで困った出来事でした。

校長室より

会社員だったころ、日曜の夕方は翌日から始まる仕事の事を考えるとゆううつでした。転職して教師になり、休み明けはやはり気が重いのは同じですが、学校で子どもたちが明るく元気に過ごし、頑張っている姿を見ると、いつの間にか自分自身も明るく元気になれるのです。そんな学校の、そして子どもたちの不思議な力を今でも強く感じています。子どもたち、地域、職員すべてに感謝！